

効果検証の結果（1/2）
アウトプット指標（活動指標）

KPI①	オンライン診療利用人数（年間延べ利用人数）	種別	アウトプット	単位	人
KPIの概要、測定方法	1年間のオンライン診療サービス（医療MaaS）を利用した延べ利用人数。 なお、診療所受診者数は年間3,297人（令和5年度実績：年間延べ利用人数）				
事業成果等の計測に適する理由	利用人数が増加することで、サービスが広く利活用されていると判断できるため。また、数値から事業効果を検証するとともに、運用後における運行ルート選定や開設する集会所の追加検討等、さらなる利活用促進を図るため。				
2025年度末【目標値】（年度変更不可）		2026年度末【目標値】（年度変更不可）		2027年度末【目標値】（年度変更不可）	
10		60		100	
2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】	
3					
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組		医療MaaSは全国的にも導入が始まったばかりであり、地域住民へのサービスの理解浸透までに一定の時間を要していると考えている。また、医療MaaSのサービス利用者は高齢の慢性疾患患者であることから、突然の体調不良による日程変更や往診への切替えのほか、利用者が急遽入院することにより予定がキャンセルになるなど、実績に結びつかないケースがあったため。 新宮診療所に通院する慢性疾患患者やその家族に実際に医療MaaSを体験していただき、意見交換しながら利用しやすいサービス内容に改善していくことが重要であると考えている。そのため、新宮診療所にて医療MaaSの体験会を2か月に1回の頻度で開催する。			
KPI②	マイナンバーカード申請率	種別	アウトプット	単位	%
KPIの概要、測定方法	地方公共団体情報システム機構が発表する個人番号カードの申請受付状況による。				
事業成果等の計測に適する理由	マイナンバーカードはマイナ保険証としても活用が開始され、本事業においても本人確認・負担割合確認等に活用することでマイナンバーカード未取得者の申請が見込まれるため。				
2025年度末【目標値】（年度変更不可）		2026年度末【目標値】（年度変更不可）		2027年度末【目標値】（年度変更不可）	
95		95.5		96	
2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】	
100.61					
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組		従来の健康保険証の新規発行が2024年12月に廃止されて以降、新宮診療所に通院する患者へマイナ保険証の利用を呼び掛けするとともに、医療MaaSを利用する際の本人確認・資格確認にはマイナ保険証が必要であることの周知を図ったことで、一定のマイナンバーカード申請率の向上に寄与したものであると考えている。 引き続き医療MaaSの利用を希望する慢性疾患患者をはじめ、新宮診療所に通院する患者やその家族にマイナ保険証の利用を呼び掛けすることで、マイナンバーカードの申請率の向上に寄与していく。			

効果検証の結果（2/2）

アウトカム指標（成果指標）

KPI①	医療MaaSサービス利用満足度	種別	アウトカム	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	新宮診療所に定期的に通院している慢性疾患患者のうち、オンライン診療サービス（医療MaaS）を利用した人の5段階評価満足度の平均値。 オンライン診療サービス（医療MaaS）を利用した後にアンケート画面を表示し、利用者に入力してもらうことで測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	オンライン診療サービス（医療MaaS）を利用し満足した人数が多ければ多いほど、通院患者の負担軽減効果があると考えられるため。また、アンケート画面にて、任意で不満な点を記入してもらうことで、サービスの改善を図る。				
2025年度末【目標値】（年度変更不可）		2026年度末【目標値】（年度変更不可）		2027年度末【目標値】（年度変更不可）	
2.8		3.5		4.2	
2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】	
3					
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取り組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組		利用満足度の向上に向けては、医療MaaSを利用する患者や家族の視点を重視したサービス設計に取り組んだ。具体的には、高齢者にも分かりやすい来院受診時の予約及び説明、乗降時のサポート実施や診療方法など、安心して利用できる環境づくりを進めた。 既存の利用者と意見交換しながらサービスの改善を図っていくとともに、まだ医療MaaSを利用したことがない患者にも実際に体験していただき、意見を伺いながら利用しやすいサービス内容に改善していく。			

KPI②	受診の移動・待ち時間の軽減度	種別	アウトカム	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	新宮診療所に定期的に通院している慢性疾患患者のうち、オンライン診療サービス（医療MaaS）を利用した人の5段階評価での「受診の移動・待ち時間の軽減度」の平均値。 オンライン診療サービス（医療MaaS）を利用した後にアンケート画面を表示し、利用者に入力してもらうことで測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	オンライン診療サービス（医療MaaS）を利用し「負担が軽減された」と感じた度合いが大きいほど、通院患者の「通院アクセスの負担軽減効果があると考えられるため。また、アンケート画面にて、任意で不満な点を記入してもらうことで、サービスの改善を図る。				
2025年度末【目標値】（年度変更不可）		2026年度末【目標値】（年度変更不可）		2027年度末【目標値】（年度変更不可）	
3.6		4.2		4.8	
2025年度末【実績値】		2026年度末【実績値】		2027年度末【実績値】	
3.67					
直近のKPIについて 【KPI「達成」の場合】達成のための取り組み内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【KPI「未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組		移動時間軽減に向けては、医療機関の診療時間と連動した運行計画を作成し、効率的な配車・運行を実施した。また、事前に利用者の居住地や目的地を踏まえた最適ルートを検討し、移動効率向上を図るとともに、待機時間が長時間化しないよう運行管理を調整し、利用者負担軽減に努めた。 医療MaaSの運行回数を重ねる中で、一連のサービス提供の流れをスムーズに実施できるよう、より一層のスタッフの習熟機会確保を図りながら、今まで以上に患者の負担を軽減できるサービス内容に改善していく。			